

～小・中学校 体育編～

	小学校体育	中学校体育																																								
教科目標	心と体を一体としてとらえ、適切な運動の経験と健康・安全についての理解を通して、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の基礎を育てるとともに健康の保持増進と体力の向上を図り、楽しく明るい生活を営む態度を育てる	心と体を一体としてとらえ、運動や健康・安全についての理解と運動の合理的な実践を通して、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育てるとともに健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かな生活を営む態度を育てる。																																								
体育分野の主な改善点	<p>豊かなスポーツライフ実現 ← 生涯にわたって運動に親しむための資質や能力の育成</p> <p>発達段階のまとまりを考慮した内容の構成</p> <p>小1～小4... 様々な動きを身に付ける時期</p> <p>小5～中2... 多くの領域を体験する時期</p> <p>指導内容の明確化 ... 各学年で身に付けさせたい具体的な内容を明示</p> <p>(例) 陸上運動[小 5・6]・ハードル走では、ハードルをリズムカルに走り越えること</p> <p>基礎的な身体能力・体力向上の重視 ... 積極的に運動する子どもとそうでない子どもの2極化傾向、体力の低下</p> <p>(小)各学年に「体づくり運動」を位置付け(スムーズに動ける体づくりを)</p> <p>知識の習得</p> <p>(小)技のポイントや ルール等の習得</p> <p>【小】指導内容の体系化 ... 全学年の内容を6領域に</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体づくり運動系・器械運動系</li> <li>・陸上運動系・水泳系</li> <li>・ボール運動系・表現運動系</li> </ul>	<p>中3～高3... 卒業後に、少なくとも一つの運動やスポーツを継続することができるようにする時期</p> <p>(中) 「体づくり運動」の充実(年間7時間以上の実施)</p> <p>(中) 体育理論の指導は、年間3時間以上を目安に</p> <p>【中】運動の取り上げ方の弾力化・選択のまとまり見直し</p> <p>中1・2... 全ての領域を必修(「武道」「ダンス」を含む)</p> <p>学習体験をさせた上で自ら適した運動を選択できるように</p> <p>中3... 「体づくり運動」「体育理論」を除き選択</p> <p>(例) 球技及び武道の領域から1領域以上を選択して履修</p>																																								
保健の改善	<p>生涯を通じて、自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力の育成</p> <p>系統性のある指導... 発達の段階を踏まえた保健内容の体系化</p> <p>健康の概念や課題の明確化と、心身の発育・発達と健康、生活習慣病などの疾病の予防など</p> <p>けがの防止としての生活の安全に関する内容を取り上げる</p> <p>小学校低学年で、運動を通して健康の認識がもてるよう指導の在り方を改善</p>																																									
道徳との関連	<p>運動領域では「粘り強くやり遂げる」「きまりを守る」「集団に参加し協力する」といった態度が養われ、保健領域では「生活習慣の大切さを知り、自分の生活を見直す」ことを学ぶ。体育と道徳の時間の両者が相互に効果を高め合うように、道徳教育の全体計画との関連を図る。</p>																																									
授業時数	<p>小学校</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>4年</th> <th>5年</th> <th>6年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>現行</td> <td>90(2.6)</td> <td>90</td> <td>90</td> <td>90</td> <td>90</td> <td>90</td> </tr> <tr> <td>H21・22</td> <td>102(3)</td> <td>105(3)</td> <td>90</td> <td>90</td> <td>90</td> <td>90</td> </tr> <tr> <td>H23～</td> <td>102(3)</td> <td>105(3)</td> <td>105</td> <td>105</td> <td>90</td> <td>90</td> </tr> </tbody> </table>		1年	2年	3年	4年	5年	6年	現行	90(2.6)	90	90	90	90	90	H21・22	102(3)	105(3)	90	90	90	90	H23～	102(3)	105(3)	105	105	90	90	<p>中学校</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>現行</td> <td>90</td> <td>90</td> <td>90</td> </tr> <tr> <td>H24～</td> <td>105(3)</td> <td>105</td> <td>105</td> </tr> </tbody> </table>		1年	2年	3年	現行	90	90	90	H24～	105(3)	105	105
	1年	2年	3年	4年	5年	6年																																				
現行	90(2.6)	90	90	90	90	90																																				
H21・22	102(3)	105(3)	90	90	90	90																																				
H23～	102(3)	105(3)	105	105	90	90																																				
	1年	2年	3年																																							
現行	90	90	90																																							
H24～	105(3)	105	105																																							

<指導・支援の場面で>

背景に、体力の低下傾向、運動する子どもとそうでない子どもの二極化、生活習慣の乱れなど

体育も保健も、キーワードは「生涯にわたって」

体育は、単に身体能力を身に付けるというだけでなく、情緒面や知的側面、コミュニケーション能力や論理的思考力の育成にも資する教科

校種間のつながりがより重要に

大きな改善点の一つに、小学1年から高校3年までの発達段階のまとまりを、4年ごとの3段階としたことがある。なかでも、小学5年～中学2年までが発達段階の一まとまりとなったことで、小・中学校における連携や交流が更に重要となる。中・高も同様、「体づくり運動」...学習したことを家の人と、一緒にできるような学習の在り方も...

小学校(低・中学年)

小学校(高学年)・中学校(1.2年)

中学校(3年)・高等学校

動き作り

体力構成要素

運動の計画と実践